

DIAGNOSTIC TOOL

操作ガイド

HDM-10000

日産/故障コードの読取・消去とデータモニターを活用した ABS 車輪回転センサーの故障診断手順(ノート/HE12 での例)

注意事項/必ずお読みください

- 本書は Astemo ダイアグノスティックツール HDM-10000 用診断ソフトの診断機能の操作方法、活用事例について紹介するものです。自動車メーカー発行の整備解説書を代替するものではありません。
- 実際の作業にあたっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で正式な作業手順、注意事項をご参照のうえ、作業を行ってください。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更されるため、本資料で紹介する機能が使用できない場合があります。

1.ABS の車輪回転センサーの故障診断について

- メーターパネル内の ABS 警告灯が点灯したとき、スキャンツールを接続して故障コードの読取りを実行すると車輪回転センサー(ABS センサーまたは車速センサーとも呼称)の故障コードが表示される場合があります。
- ただし、車輪回転センサー以外の構成要素に不具合が発生した場合でもコントロールユニットは車輪回転センサーの故障として故障コードを記憶する場合があります。
その場合は、整備解説書に記載された当該故障コードの故障診断手順を参照して、不具合箇所の診断を行ったうえで修理、交換を行う必要があります。
- 上記の例として日産ノート(HE12)の車輪回転センサーの故障コード「C1108 前輪左回転センサー-2」を挙げると、下表の様な複数の原因が推定されます。

故障コード	検出条件	推定原因/箇所 (現在故障の場合)
C1108	●前輪左回転センサーの電源電圧が低い場合 ●前輪左回転センサーと前輪左センサーローターのギャップが大きい場合 ●前輪左回転センサーまたは前輪左センサーローターが取付不良の場合 ●前輪左回転センサーまたは前輪左センサーローターに汚れ、または損傷がある場合	●ハーネスまたはコネクター ●車輪回転センサー ●センサーローター ●ABSアクチュエーター・C/U ●タイヤサイズ ●ABSアクチュエーター・C/U電源系統 ●ヒューズ ●ヒュージブルリンク ●12Vバッテリー ●修理後に走行していない

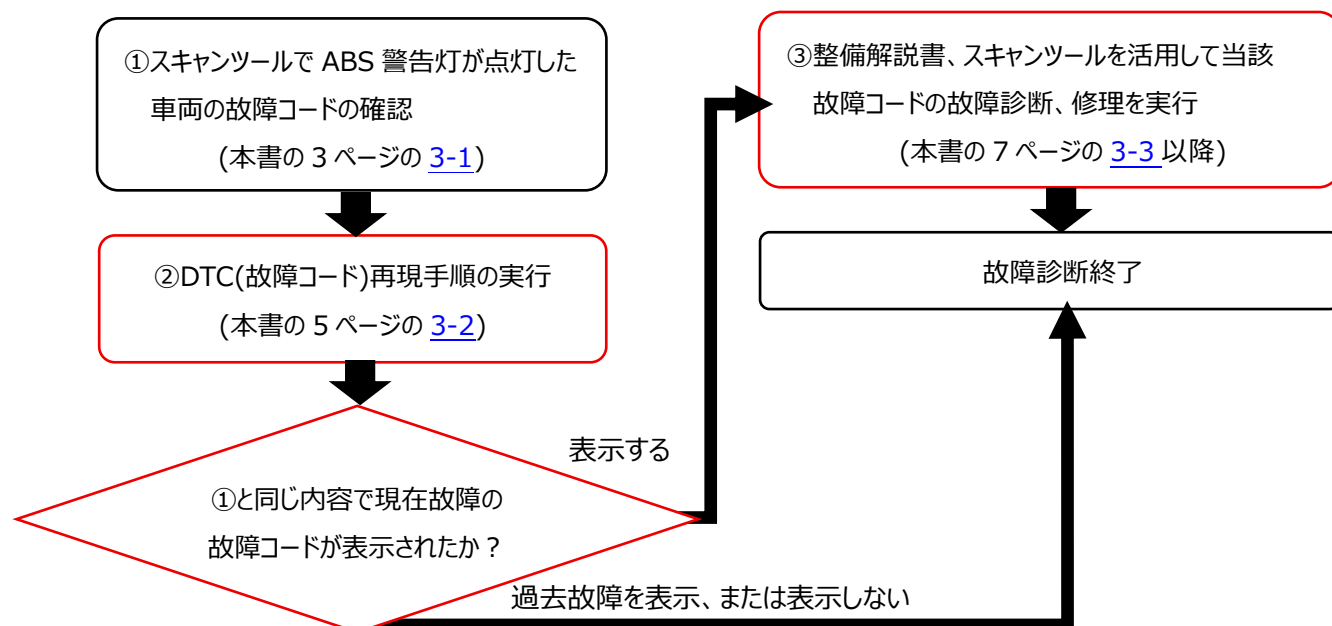
- 本書では日産ノート(HE12)で ABS 警告灯が点灯して入庫し、ABS の故障コード「C1108 前輪回転センサー-2」が表示された場合を例にとって「故障コードの読取」「故障コードの消去」「データモニター」を活用した故障診断手順を紹介します。

(次ページに続きます)

2.日産車の整備解説書に記載されている故障診断手順

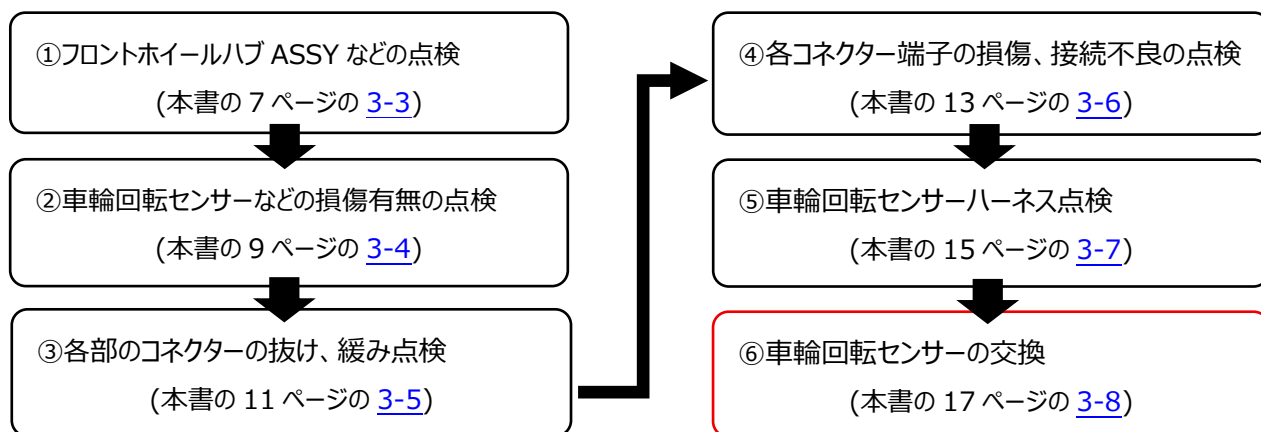
(1)故障診断のフロー

日産車では警告灯が点灯した車両が入庫し、スキャンツールに故障コードが表示されたとき、故障診断を行う前に「DTC (故障コード)再現手順」を行って、当該故障コードが再度表示されるか確認を行い、当該故障コードが表示された場合、故障診断に入ります。当該故障コードが過去故障として表示、または表示しない場合は一時的なものと判断します。



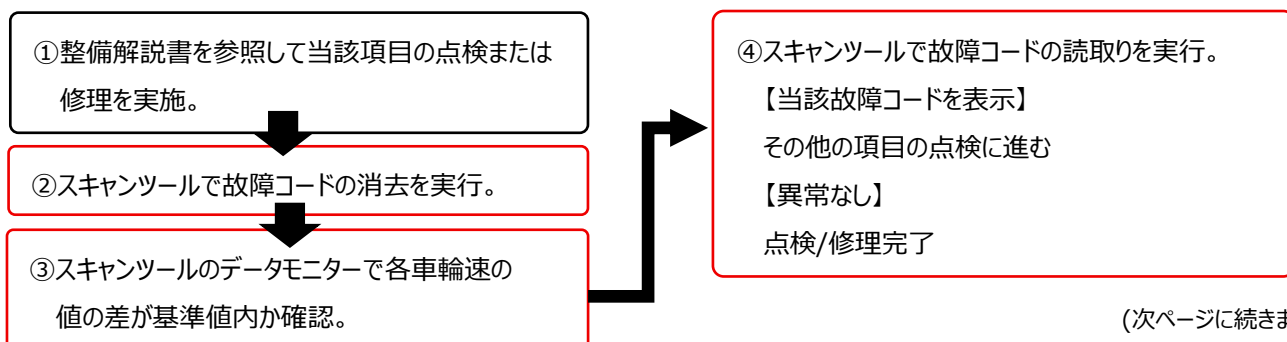
(2)車輪回転センサー(ABS センサー)交換を判断するまでの点検項目/箇所

以下に挙げる各項目の点検を行い、整備解説書に記載の判断基準と点検結果を照会して次の項目の点検に進みます。また、点検結果によっては車輪回転センサーではなく、その他の構成要素の交換、修理を行います。



(3)各点検項目/箇所ごとの点検フロー(手順例/3-4)

下記①のあと、点検または修理の結果が正常であるか確認をおこなうため②～④を行います。(一部手順を省略)



(次ページに続きます)

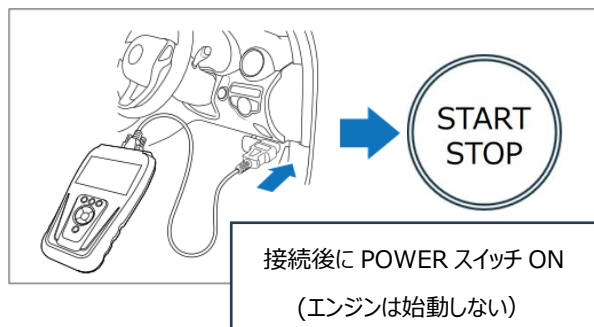
3.HDM-10000 による ABS 車輪回転センサーの故障診断手順(ノート/HE12 での例)

3-1.ABS 警告灯が点灯した車両の故障コードの有無確認

[\(2 ページに戻る\)](#)

【手順 01:HDM-10000 の車両への接続】

- ①HDM-10000 を車両側診断コネクタに接続してください。HDM-10000 が起動します。
- ②車両側 POWER スイッチを ON にしてください。
- ③HDM-10000 メニュー内の「診断」を選択して ENTER キーを押してください。



【手順 02:日産診断ソフトの起動から車両選択の実行まで】

- ①「メーカー選択」が表示されたら「日産/インフィニティ」を選択して ENTER キーを押してください。日産診断ソフトが起動します。



- ②次に「車両選択」が表示されたら「自動検出」を選択して ENTER キーを押してください。「イニシャライズ中…しばらくお待ちください」の表示に続いて「選択車両情報」が表示されます。内容を確認して ENTER キーを押してください。



(次ページに続きます)

【手順 03:日産メインメニューから診断選択まで】

①日産メインメニューが表示されたら「診断」を選択して ENTER キーを押してください。次に診断選択で「システム別の診断」を選択して ENTER キーを押してください。



②次にシステム選択が表示されたら「ABS」を選択して ENTER キーを押してください。



【手順 04:ABS の故障コード確認】

ABS のメニューが表示されたら「故障コードの読取」を選択して ENTER キーを押してください。故障コードが表示されていれば 5 ページの[3-2.DTC\(故障コード\)の再現手順](#)に進みます。



(次ページに続きます)

【手順 05:HDM-10000 の取り外し】

HDM-10000 を取り外してください。※

※直前に別の故障コードで「DTC(故障コード)再現手順」を実施した場合は、必ずキースイッチを OFF にして 10 秒以上待ってから手順 06 以降を行ってください。

【手順 06:車両の走行】

- ①POWER スイッチを READY にし、車速 50km/h 以上で約 2 分間走行してください。
- ②車両を停止させ、POWER スイッチを OFF にして 10 秒以上待機してください。
- ③POWER スイッチを READY にして 10 秒以上待機してください。
- ④上記の②から③の操作を 2 回以上行ってください。

【手順 07:故障コードの確認】

- ①HDM-10000 を車両側診断コネクタに接続してください。HDM-10000 が起動します。
- ②HDM-10000 メニュー内の「診断」を選択して ENTER キーを押してください。
- ③3～4 ページの[手順 02～04](#)と同じ手順で HDM-10000 による故障コードの読取りを行い、表示された内容から下記の㉖～㉙のいずれかを行ってください。

㉖現在故障で故障コード「C1108」を表示

右図の赤枠部分が「現在故障」と表示された状態であれば、7 ページの[「3-3.フロントホイールハブ ASSY などの点検」](#)に進みます。

㉗過去故障で故障コード「C1108」を表示

右図の赤枠部分が「過去故障」と表示された状態であれば 6 ページの[手順 08](#)に進みます。

㉙「異常なし」を表示

そのほかに不具合がない場合は点検終了です。そのほかの不具合が発生している場合は整備解説書に記載された「故障原因シミュレーションテスト」を行ってください。



(次ページに続きます)

【手順 08:ABS の過去故障の故障コード消去】

- ①EXIT キーを押して ABS のメニューに戻ります。
- ②ABS のメニューで「故障コードの消去」を選択して ENTER キーを押してください。「自己診断の消去」が表示されたら ENTER キーを押してください。「消去完了」が表示されます。



【手順 09:ABS の故障コードの確認(「異常なし」の確認)】

- ①EXIT キーを押して ABS のメニューに戻ります。
- ②ABS のメニューで「故障コードの読取」を選択して ENTER キーを押してください。「異常なし」が表示されたら車輪回転センサー系統は正常です。点検を終了してください。



(次ページに続きます)

【手順 10:フロントホイールハブ ASSY 点検】

整備解説書を参照してフロントホイールハブ ASSY にガタがないか点検を行ってください。

【点検結果が正常の場合】

手順 11 に進みます

【点検結果が異常の場合】

整備解説書を参照してフロントホイールハブ ASSY の修理、交換後、手順 11 に進みます。

【手順 11:ABS アクチュエーター・C/U 電源、およびアース回路点検】

整備解説書を参照して ABS アクチュエーター・C/U 電源、およびアース回路の点検を行ってください。

【点検結果が正常の場合】

手順 12 に進みます

【点検結果が異常の場合】

整備解説書を参照してハーネス、コネクター、ヒューズ、またはヒューズブルリンクの修理、交換を行ってください。

【手順 12:タイヤ点検】

整備解説書を参照して、POWER スイッチを OFF にして、タイヤの空気圧、摩耗、およびサイズの点検を行ってください。

【点検結果が正常の場合】

9 ページの「[3-4.車輪回転センサーなどの損傷有無の点検](#)」に進みます。

【点検結果が異常の場合】

タイヤ空気圧を調整、またはタイヤを交換して手順 13 に進みます。

【手順 13:ABS の故障コードの消去】

ABS のメニューで「故障コードの消去」を選択して ENTER キーを押してください。「自己診断の消去」が表示されたら ENTER キーを押してください。「消去完了」が表示されます。



(次ページに続きます)

【手順 14:車両側 POWER スwitchの操作】

- ①POWER スwitchを OFF→10 秒待機→POWER スwitchを ON→10 秒待機→POWER スwitchを OFF
→10 秒待機を行ってください。
- ②POWER スwitchを READY にしてください。

【手順 15:データモニターによる各車輪回転センサーの車輪速確認】

- ①ABS のメニューで「データモニター」を選択して ENTER キーを押してください。次に「表示項目選択」が表示されたら「カイトセンサ FL」「カイトセンサ FR」「カイトセンサ RL」「カイトセンサ RR」を選択し(※)、画面下部の開始を選択して ENTER キーを押してください。※

※項目の選択方法は HDM-10000 取扱説明書の「[8-1.データモニターの実行](#)」の②の Hint を参照してください。



- ②周囲の安全、制限速度に注意して車両を走行させ、不具合が発生している車輪回転センサー(この場合はカイトセンサ FL)と他の車輪回転センサーの値を確認し、車速 50km/h で走行したときの最大と最小の車輪速が各々5%以内(約 2.5km/h 以内)か点検してください。

【点検結果が正常の場合】

手順 16 に進みます。

【点検結果が異常の場合】

9 ページの「[3-4.車輪回転センサーなどの損傷有無の点検](#)」に進みます。

データモニタ	
カイト センサ FL	50 km/h
カイト センサ FR	50 km/h
カイト センサ RL	50 km/h
カイト センサ RR	50 km/h

At the bottom are buttons for 'データ保存' (Save data) and '印刷' (Print).

【注意事項:車両走行時のデータモニターの実行について】

- 車両の運転、走行を行いながらの HDM-10000 の画面の注視、操作は行わないでください。
- データモニターの値の確認をされる方と運転をされる方の 2 名で分担することを推奨します。
- やむを得ず 1 名で行う場合は車両停止時にデータ保存を実行してから車両の運転、走行を行ってください。
⇒操作方法は下記を参照してください。
 - ・データモニターの保存 = HDM-10000 取扱説明書の「[8-2.データモニターの保存](#)」を参照してください。
 - ・保存したデータの確認 = HDM-10000 取扱説明書の「[2.データモニターの再生](#)」を参照してください。または「[保存データをパソコンで閲覧する](#)」を参照してください。

【手順 16:POWER スwitchの操作】

- ①車両を停止してください。
- ②POWER スwitchを OFF にして 10 秒待機してください。
- ③POWER スwitchを READY にして 10 秒以上待機してください。
- ④上記の②から③の操作を 2 回以上行ってください。

(次ページに続きます)

【手順 17:故障コードの確認】

3～4 ページの[手順 02～04](#) で HDM-10000 による故障コードの読み取りを行い、表示された内容から下記の㉗㉘のいずれかを行ってください。

㉗故障コード「C1108」を表示

次の「[3-4.車輪回転センサーなどの損傷有無の点検](#)」に進みます。

㉘「異常なし」を表示

車輪回転センサーシステムは正常です。

点検を終了してください。



3-4.車輪回転センサーなどの損傷有無の点検

[\(2 ページに戻る\)](#)

【手順 18:車輪回転センサーおよびセンサーローター点検/損傷の有無確認】

- ① POWER スイッチを OFF にしてください。
- ② 整備解説書を参照して車輪回転センサーハーネスコネクタを外し、車輪回転センサー、および車輪回転センサー取付け穴からセンサーローターに付着した異物、および粉じんを集じん機で清掃してください。
- ③ 車輪回転センサーに損傷がないか点検してください。

【点検結果が正常の場合】

11 ページの「[3-5.各部のコネクタの抜け、緩みの点検](#)」に進みます。

【点検結果が異常の場合】

整備解説書を参照して車輪回転センサーを交換し、手順 19 に進みます。

【手順 19:ABS の故障コードの消去】

ABS のメニューで「故障コードの消去」を選択して ENTER キーを押してください。「自己診断の消去」が表示されたら ENTER キーを押してください。「消去完了」が表示されます。



(次ページに続きます)

【手順 20:車両側 POWER スwitchの操作】

- ①POWER スwitchを OFF→10 秒待機→POWER スwitchを ON→10 秒待機→POWER スwitchを OFF→10 秒待機を行ってください。
- ②POWER スwitchを READY にしてください。

【手順 21:データモニターによる各車輪回転センサーの車輪速確認】

- ①ABS のメニューで「データモニター」を選択して ENTER キーを押してください。次に「表示項目選択」が表示されたら「カイトセンサ FL」「カイトセンサ FR」「カイトセンサ RL」「カイトセンサ RR」を選択し(※)、画面下部の開始を選択して ENTER キーを押してください。※

※項目の選択方法は HDM-10000 取扱説明書の[「8-1.データモニターの実行」の②の Hint を参照してください。](#)



- ②周囲の安全、制限速度に注意して車両を走行させ、不具合が発生している車輪回転センサー(この場合はカイトセンサ FL)と他の車輪回転センサーの値を確認し、車速 50km/h で走行したときの最大と最小の車輪速が各々 5%以内(約 2.5km/h 以内)か点検してください。

【点検結果が正常の場合】

手順 22 に進みます。

【点検結果が異常の場合】

19 ページの[「3-9.センサーローターの交換と点検」](#)に進みます。

データモニタ	
カイト センサ FL	50 km/h
カイト センサ FR	50 km/h
カイト センサ RL	50 km/h
カイト センサ RR	50 km/h
データ保存 印刷	

【注意事項:車両走行時のデータモニターの実行について】

- 車両の運転、走行を行いながらの HDM-10000 の画面の注視、操作は行わないでください。
- データモニターの値の確認をされる方と運転をされる方の 2 名で分担することを推奨します。
- やむを得ず 1 名で行う場合は車両停止時にデータ保存を実行してから車両の運転、走行を行ってください。
⇒操作方法は下記を参照してください。
 - ・データモニターの保存 = HDM-10000 取扱説明書の[「8-2.データモニターの保存」](#)を参照してください。
 - ・保存したデータの確認 = HDM-10000 取扱説明書の[「2.データモニターの再生」](#)を参照してください。または[「保存データをパソコンで閲覧する」](#)を参照してください。

【手順 22:POWER スwitchの操作】

- ①車両を停止してください。
- ②POWER スwitchを OFF にして 10 秒待機してください。
- ③POWER スwitchを READY にして 10 秒以上待機してください。
- ④上記の②から③の操作を 2 回以上行ってください。

(次ページに続きます)

【手順 23:故障コードの確認】

3～4 ページの[手順 02～04](#) で HDM-10000 による故障コードの読取りを行い、表示された内容から下記の㊦㊧のいずれかを行ってください。

㊦故障コード「C1108」を表示

19 ページの「[3-9.センサーローターの交換と点検](#)」に進みます。

㊧「異常なし」を表示

車輪回転センサー系統は正常です。

点検を終了してください。



3-5.各部のコネクターの抜け、緩みの点検

[\(2 ページに戻る\)](#)

【手順 24:コネクター点検】

①POWER スイッチを OFF にしてください。

②ABS アクチュエーター・C/U ハーネスコネクターの抜け、および緩みがないか点検してください。

③車輪回転センサーハーネスコネクターの抜け、および緩みがないか点検する。

【点検結果が正常の場合】

13 ページの「[3-6.各コネクター端子の損傷、接続不良の点検](#)」に進みます。

【点検結果が異常の場合】

ハーネス、またはコネクターを修理／交換し、コネクターを確実にロックさせて手順 25 に進みます。

【手順 25:ABS の故障コードの消去】

ABS のメニューで「故障コードの消去」を選択して ENTER キーを押してください。「自己診断の消去」が表示されたら ENTER キーを押してください。「消去完了」が表示されます。



(次ページに続きます)

【手順 26:車両側 POWER スwitchの操作】

- ①POWER スwitchを OFF→10 秒待機→POWER スwitchを ON→10 秒待機→POWER スwitchを OFF→10 秒待機を行ってください。
- ②POWER スwitchを READY にしてください。

【手順 27:データモニターによる各車輪回転センサーの車輪速確認】

- ①ABS のメニューで「データモニター」を選択して ENTER キーを押してください。次に「表示項目選択」が表示されたら「カイトセンサ FL」「カイトセンサ FR」「カイトセンサ RL」「カイトセンサ RR」を選択し(※)、画面下部の開始を選択して ENTER キーを押してください。※

※項目の選択方法は HDM-10000 取扱説明書の[「8-1.データモニターの実行」の②の Hint を参照してください。](#)



- ②周囲の安全、制限速度に注意して車両を走行させ、不具合が発生している車輪回転センサー(この場合はカイトセンサ FL)と他の車輪回転センサーの値を確認し、車速 50km/h で走行したときの最大と最小の車輪速が各々5%以内(約 2.5km/h 以内)か点検してください。

【点検結果が正常の場合】

手順 28 に進みます。

【点検結果が異常の場合】

13 ページの[「3-6.各コネクター端子の損傷、接続不良の点検」](#)に進みます。



【注意事項:車両走行時のデータモニターの実行について】

- 車両の運転、走行を行いながらの HDM-10000 の画面の注視、操作は行わないでください。
- データモニターの値の確認をされる方と運転をされる方の 2 名で分担することを推奨します。
- やむを得ず 1 名で行う場合は車両停止時にデータ保存を実行してから車両の運転、走行を行ってください。
⇒操作方法は下記を参照してください。
 - ・データモニターの保存 = HDM-10000 取扱説明書の[「8-2.データモニターの保存」](#)を参照してください。
 - ・保存したデータの確認 = HDM-10000 取扱説明書の[「2.データモニターの再生」](#)を参照してください。または[「保存データをパソコンで閲覧する」](#)を参照してください。

【手順 28:POWER スwitchの操作】

- ①車両を停止してください。
- ②POWER スwitchを OFF にして 10 秒待機してください。
- ③POWER スwitchを READY にして 10 秒以上待機してください。
- ④上記の②から③の操作を 2 回以上行ってください。

(次ページに続きます)

【手順 29:故障コードの確認】

3～4 ページの[手順 02～04](#) で HDM-10000 による故障コードの読み取りを行い、表示された内容から下記の㊦㊧のいずれかを行ってください。

㊦故障コード「C1108」を表示

次の「[3-6.各コネクタ端子の損傷、接続不良の点検](#)」に進みます。

㊧「異常なし」を表示

車輪回転センサー系統は正常です。

点検を終了してください。



3-6.各コネクタ端子の損傷、接続不良の点検

[\(2 ページに戻る\)](#)

【手順 30:端子点検】

- ①POWER スイッチを OFF にする。
- ②ABS アクチュエーター・C/U ハーネスコネクタを外す。
- ③ABS アクチュエーター・C/U ハーネスコネクタの端子に損傷、および接続に不良がないか点検する。
- ④車輪回転センサーハーネスコネクタを外す。
- ⑤車輪回転センサーハーネスコネクタの端子に損傷、および接続に不良がないか点検する。

【点検結果が正常の場合】

15 ページの「[3-7.車輪回転センサーハーネスの点検](#)」に進みます。

【点検結果が異常の場合】

ハーネス、コネクタ、または端子を修理/交換して、ABS アクチュエーター・C/U ハーネスコネクタの接続と車輪回転センサーハーネスコネクタの接続が完了したら手順 31 に進みます。

【手順 31:ABS の故障コードの消去】

ABS のメニューで「故障コードの消去」を選択して ENTER キーを押してください。「自己診断の消去」が表示されたら ENTER キーを押してください。「消去完了」が表示されます。



(次ページに続きます)

【手順 32:車両側 POWER スwitchの操作】

- ①POWER スwitchを OFF→10 秒待機→POWER スwitchを ON→10 秒待機→POWER スwitchを OFF→10 秒待機を行ってください。
- ②POWER スwitchを READY にしてください。

【手順 33:データモニターによる各車輪回転センサーの車輪速確認】

- ①ABS のメニューで「データモニター」を選択して ENTER キーを押してください。次に「表示項目選択」が表示されたら「カイトセンサ FL」「カイトセンサ FR」「カイトセンサ RL」「カイトセンサ RR」を選択し(※)、画面下部の開始を選択して ENTER キーを押してください。※

※項目の選択方法は HDM-10000 取扱説明書の[「8-1.データモニターの実行」の②の Hint を参照してください。](#)



- ②周囲の安全、制限速度に注意して車両を走行させ、不具合が発生している車輪回転センサー(この場合はカイトセンサ FL)と他の車輪回転センサーの値を確認し、車速 50km/h で走行したときの最大と最小の車輪速が各々5%以内(約 2.5km/h 以内)か点検してください。

【点検結果が正常の場合】

手順 34 に進みます。

【点検結果が異常の場合】

15 ページの[「3-7.車輪回転センサーハーネスの点検」](#)に進みます。



【注意事項:車両走行時のデータモニターの実行について】

- 車両の運転、走行を行いながらの HDM-10000 の画面の注視、操作は行わないでください。
- データモニターの値の確認をされる方と運転をされる方の 2 名で分担することを推奨します。
- やむを得ず 1 名で行う場合は車両停止時にデータ保存を実行してから車両の運転、走行を行ってください。
⇒操作方法は下記を参照してください。
 - ・データモニターの保存 = HDM-10000 取扱説明書の[「8-2.データモニターの保存」](#)を参照してください。
 - ・保存したデータの確認 = HDM-10000 取扱説明書の[「2.データモニターの再生」](#)を参照してください。または[「保存データをパソコンで閲覧する」](#)を参照してください。

【手順 34:POWER スwitchの操作】

- ①車両を停止してください。
- ②POWER スwitchを OFF にして 10 秒待機してください。
- ③POWER スwitchを READY にして 10 秒以上待機してください。
- ④上記の②から③の操作を 2 回以上行ってください。

(次ページに続きます)

【手順 35:故障コードの確認】

3～4 ページの[手順 02～04](#) で HDM-10000 による故障コードの読取りを行い、表示された内容から下記の㊦㊧のいずれかを行ってください。

㊦故障コード「C1108」を表示

次の「[3-7.車輪回転センサーハーネスの点検](#)」に進みます。

㊧「異常なし」を表示

車輪回転センサー系統は正常です。

点検を終了してください。



3-7.車輪回転センサーハーネスの点検

[\(2 ページに戻る\)](#)

【手順 36:車輪回転センサーハーネス点検】

整備解説書を参照して ABS アクチュエーター・C/U ハーネスコネクター～ボディアース間の導通を点検してください。

【点検結果が正常の場合】

手順 37 に進みます。

【点検結果が異常の場合】

ハーネス、またはコネクターを修理/交換して、ABS アクチュエーター・C/U ハーネスコネクターの接続、車輪回転センサーハーネスコネクターの接続が完了したら手順 37 に進みます。

【手順 37:ABS の故障コードの消去】

ABS のメニューで「故障コードの消去」を選択して ENTER キーを押してください。「自己診断の消去」が表示されたら ENTER キーを押してください。「消去完了」が表示されます。



(次ページに続きます)

【手順 38:車両側 POWER スwitchの操作】

- ①POWER スwitchを OFF→10 秒待機→POWER スwitchを ON→10 秒待機→POWER スwitchを OFF
→10 秒待機を行ってください。
- ②POWER スwitchを READY にしてください。

【手順 39:データモニターによる各車輪回転センサーの車輪速確認】

- ①ABS のメニューで「データモニター」を選択して ENTER キーを押してください。次に「表示項目選択」が表示されたら「カイトセンサ FL」「カイトセンサ FR」「カイトセンサ RL」「カイトセンサ RR」を選択し(※)、画面下部の開始を選択して ENTER キーを押してください。※

※項目の選択方法は HDM-10000 取扱説明書の「[8-1.データモニターの実行](#)」の②の Hint を参照してください。



- ②周囲の安全、制限速度に注意して車両を走行させ、不具合が発生している車輪回転センサー(この場合はカイトセンサ FL)と他の車輪回転センサーの値を確認し、車速 50km/h で走行したときの最大と最小の車輪速が各々5%以内(約 2.5km/h 以内)か点検してください。

【点検結果が正常の場合】

手順 40 に進みます。

【点検結果が異常の場合】

17 ページの「[3-8.車輪回転センサーの交換と点検](#)」に進みます。

データモニター	
カイト センサ FL	50 km/h
カイト センサ FR	50 km/h
カイト センサ RL	50 km/h
カイト センサ RR	50 km/h

At the bottom, there are buttons for 'データ保存' and '印刷'.

【注意事項:車両走行時のデータモニターの実行について】

- 車両の運転、走行を行いながらの HDM-10000 の画面の注視、操作は行わないでください。
- データモニターの値の確認をされる方と運転をされる方の 2 名で分担することを推奨します。
- やむを得ず 1 名で行う場合は車両停止時にデータ保存を実行してから車両の運転、走行を行ってください。
⇒操作方法は下記を参照してください。
 - ・データモニターの保存 = HDM-10000 取扱説明書の「[8-2.データモニターの保存](#)」を参照してください。
 - ・保存したデータの確認 = HDM-10000 取扱説明書の「[2.データモニターの再生](#)」を参照してください。または「[保存データをパソコンで閲覧する](#)」を参照してください。

(次ページに続きます)

【手順 40:POWER スイッチの操作】

- ①車両を停止してください。
- ②POWER スイッチを OFF にして 10 秒待機してください。
- ③POWER スイッチを READY にして 10 秒以上待機してください。
- ④上記の②から③の操作を 2 回以上行ってください。

【手順 41:故障コードの確認】

3～4 ページの[手順 02～04](#)で HDM-10000 による故障コードの読取りを行い、表示された内容から下記の㊦㊧のいずれかを行ってください。

㊦故障コード「C1108」を表示

次の「[3-8.車輪回転センサーの交換と点検](#)」に進みます。

㊧「異常なし」を表示

車輪回転センサー系統は正常です。

点検を終了してください。



3-8.車輪回転センサーの交換と点検

[\(2 ページに戻る\)](#)

【手順 42:車輪回転センサーの交換】

整備解説書を参照して車輪回転センサーを交換してください。

【手順 43:ABS の故障コードの消去】

ABS のメニューで「故障コードの消去」を選択して ENTER キーを押してください。「自己診断の消去」が表示されたら ENTER キーを押してください。「消去完了」が表示されます。



(次ページに続きます)

【手順 44:車両側 POWER スwitchの操作】

- ①POWER スwitchを OFF→10 秒待機→POWER スwitchを ON→10 秒待機→POWER スwitchを OFF
→10 秒待機を行ってください。
- ②POWER スwitchを READY にしてください。

【手順 45:データモニターによる各車輪回転センサーの車輪速確認】

- ①ABS のメニューで「データモニター」を選択して ENTER キーを押してください。次に「表示項目選択」が表示されたら「カイトセンサ FL」「カイトセンサ FR」「カイトセンサ RL」「カイトセンサ RR」を選択し(※)、画面下部の開始を選択して ENTER キーを押してください。※

※項目の選択方法は HDM-10000 取扱説明書の「[8-1.データモニターの実行](#)」の②の Hint を参照してください。



- ②周囲の安全、制限速度に注意して車両を走行させ、不具合が発生している車輪回転センサー(この場合はカイトセンサ FL)と他の車輪回転センサーの値を確認し、車速 50km/h で走行したときの最大と最小の車輪速が各々5%以内(約 2.5km/h 以内)か点検してください。

【点検結果が正常の場合】

19 ページの[手順 46](#)に進みます。

【点検結果が異常の場合】

19 ページの「[3-9.センサーローターの交換と点検](#)」に進みます。

データモニタ	
カイト センサ FL	50 km/h
カイト センサ FR	50 km/h
カイト センサ RL	50 km/h
カイト センサ RR	50 km/h

Bottom buttons: データ保存, 印刷. Top status bar: 15:05, Nissan v8.16, Batt: 12.92 V.

【注意事項:車両走行時のデータモニターの実行について】

- 車両の運転、走行を行いながらの HDM-10000 の画面の注視、操作は行わないでください。
- データモニターの値の確認をされる方と運転をされる方の 2 名で分担することを推奨します。
- やむを得ず 1 名で行う場合は車両停止時にデータ保存を実行してから車両の運転、走行を行ってください。
⇒操作方法は下記を参照してください。
 - ・データモニターの保存 = HDM-10000 取扱説明書の「[8-2.データモニターの保存](#)」を参照してください。
 - ・保存したデータの確認 = HDM-10000 取扱説明書の「[2.データモニターの再生](#)」を参照してください。
または「[保存データをパソコンで閲覧する](#)」を参照してください。

(次ページに続きます)

【手順 46:POWER スイッチの操作】

- ①車両を停止してください。
- ②POWER スイッチを OFF にして 10 秒待機してください。
- ③POWER スイッチを READY にして 10 秒以上待機してください。
- ④上記の②から③の操作を 2 回以上行ってください。

【手順 47:故障コードの確認】

3～4 ページの[手順 02～04](#) で HDM-10000 による故障コードの読取りを行い、表示された内容から下記の㊦㊧のいずれかを行ってください。

㊦故障コード「C1108」を表示

次の「[3-9.センサーローターの交換と点検](#)」に進みます。

㊧「異常なし」を表示

車輪回転センサー系統は正常です。

点検を終了してください。



3-9.センサーローターの交換と点検

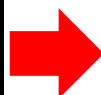
[\(2 ページに戻る\)](#)

【手順 48:センサーローターの交換】

整備解説書を参照してセンサーローターを交換してください。

【手順 49:ABS の故障コードの消去】

ABS のメニューで「故障コードの消去」を選択して ENTER キーを押してください。「自己診断の消去」が表示されたら ENTER キーを押してください。「消去完了」が表示されます。



(次ページに続きます)

【手順 50:車両側 POWER スwitchの操作】

- ①POWER スwitchを OFF→10 秒待機→POWER スwitchを ON→10 秒待機→POWER スwitchを OFF
→10 秒待機を行ってください。
- ②POWER スwitchを READY にしてください。

【手順 51:POWER スwitchの操作】

- ①車速 50km/h 以上で 2 分間走行後、車両を停止してください。
- ②POWER スwitchを OFF にして 10 秒待機してください。
- ③POWER スwitchを READY にして 10 秒以上待機してください。
- ④上記の②から③の操作を 2 回以上行ってください。

【手順 52:故障コードの確認】

3～4 ページの[手順 02～04](#) で HDM-10000 による故障コードの読取りを行い、表示された内容から下記の㉗㉘のいずれかを行ってください。

㉗故障コード「C1108」を表示

整備解説書を参照して ABS アクチュエーター・C/U の交換を行ってください。

㉘「異常なし」を表示

車輪回転センサー系統は正常です。
点検を終了してください。



(2026.09.28 発行)